

同友しずおか 2019 10

VOL.491

私の逸品

(株)T・プランツ

米づくりへの決意
「大型トラクター」



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、**同友会**にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる悩み、解決へのヒント、将来への展望。体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

2019年度活動方針

◆企業づくり

- 経営指針を成文化し、すべての人が生きる企業をつくる
- 経営者と社員が共に育つ企業風土を確立し、時代の変化に対応できる強靱な企業になる

◆地域づくり・経営環境づくり

- 中小企業振興基本条例の学びを深め、地域づくりの推進役となる
- 関係機関との連携を深め、経営者の声で経営環境を整えよう

◆同友会づくり

- 仲間づくりを推進し、1200名会勢を早期に実現しよう
- 真の経営課題に気づく学びあいにより、活力ある同友会をつくろう
- 同友会理念の学びを深め、実践で語れる会員を増やそう

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1080名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
うちうみ 内海 あきまさ 晃征	(株)ゆらり 整体(医療保険で満たせられない困りごとやニーズに応える整体、慢性的な痛みの改善に向けた整体)	静岡	浅原 聡子
うちだ 内田 かずえい 一栄	内田瓦店 屋根工事業(瓦屋根工事(新築・補修)、太陽光パネル設置)	静岡	橋本 和幸
もちづき 望月 かずとし 紀寿	研文社印刷(株) 印刷業(各種印刷物のデザイン制作、美術作品集の企画・制作、月刊書道誌の制作)	静岡	橋本 和幸
もりふじ 森藤 まほ 真帆	(株)カクニ茶藤 茶製造業(茶の仕入、輸出)	静岡	松下恵美子
さの 佐野 たかし 崇	(有)アテネスタヂオ 写真撮影業(各種記念写真)	富士宮	野本 貴之
わたい 渡井 ひろとし 宏敏	(有)宝来屋 小売業(酒・タバコ・飲料・食品の販売、プロパンガス販売)	富士宮	渡邊 卓

名義変更による新名義人(敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
いいだ 飯田 けいご 圭悟	(株)マテリアルK 土木工事一式、外構工事(セメント販売、土木工事全般から外構工事)	榛南	飯田 尚司
おおいし 大石 まさし 雅	マルニうなぎ加工(株) 食品製造業(うなぎ蒲焼の製造)	榛南	大石 好一
もり森 みわ 美和	山本電機(株) 電気関係(制御盤の設計・製造、制御盤リニューアル、電気工事)	榛南	山本 坂衛

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



米づくりへの決意 「大型トラクター」

(株)T・プランツ (志太支部)
代表取締役 田中 利明氏



収穫直前の田んぼで

航空自衛隊静浜基地に程近い焼津市藤守にある(株)T・プランツを訪ねました。早稲の刈り入れが始まったばかりの忙しい時間の合間に取材に応じていただきました。

◆2代目として

(株)T・プランツでは米づくりのほかに、園芸店やホームセンター向けに花や野菜の苗を生産販売しています。東京ドーム4個分に相当する20町歩の田んぼを管理し、現在は米4割、苗の販売6割の売上構成になっています。田中氏は農業大学を卒業後、洗車機を販売・メンテナンス

スする会社でサラリーマンとして17年勤務したのち2代目として2018年7月に実家に帰りました。現在は39歳、花の独身です。

◆モトクロスが縁で同友会に入会

モトクロス競技専用車である「モトクロッサー」を用いて、オフロードに作られたレース専用コースで順位を競うオートバイ競技「モトクロス」が趣味の田中氏は静岡支部の(M.C.S. KURITA)の太田誠氏の紹介で同友会に入会しました。「色んな経営者に会えて同友会に入会してよかった」と田中氏は語ります。現在は例会には必ず出席すると宣言し、学ぶ姿勢を全面に押し出しています。これからは経営指針書の作成を通じて生産性の高い農業法人を作り上げていく決意であると話してくれました。

◆今後の展望

代表取締役の肩書は継ぎましたが、実際の米づくりの経験は、作付けから収穫・出荷まで1回経験しただけです。あと2年ぐらい経験して流れをつかんだ後、休耕田などを借りることで耕作面積を増やしていく計画です。5年後には東京ドーム2個分の10町歩を増やすのが目標です。



田中氏(左)とフィリピンから来た外国人研修生(右)

そのために、2019年3月に大型トラクターを新車で購入しました。高級外車が買えるような金額です。田中氏は「このトラクターは農業で生きていくという自分の決意の証」と言います。現在の規模からすると大きすぎるトラクターを購入したからには、何が何でも目標を達成するという気概がにじみ出ています。収穫したての新米で作ったおにぎりは、ご家族の農業への情熱と米への愛情が感じられる絶品の味でした。「静岡県は米の消費量が日本一なんです」と語る田中氏。地元での農協さんの新品種のテストにも協力している(株)T・プランツの手で、日本最大のコメ消費地の静岡にこのブランドあり、という新品種が生み出される日も近い

(株)T・プランツ

〒421-0203 焼津市藤守404-2
TEL: 054-662-0772
URL: <http://www.t-plants.co.jp>

創業 1989年
社員数 正規5名 パート8名 外国人研修生2名
入会年月 2018年12月
事業内容 米農家・花壇苗・野菜苗の生産・出荷

では、と感じた取材でした。
取材：池原智彦氏
(池原商會・志太支部)
取材：村松繁氏
(保険アイマーク(株)・志太支部)



おにぎりをいただき記念撮影 (中央が田中氏)

社員のコミュニケーション力が強みの塗装会社

(株)高栄塗装
代表取締役 久高洋司氏（静岡支部）



静岡支部の(株)高栄塗装を訪ねました。東名清水インターのすぐ近くに、3階建ての社屋があります。名前の通り塗装業を営み、自社で職人や現場監督も社員として雇用している社員数15名の会社です。職人あがりの現場管理者が複数在籍しており、元請け・下請け両方の気持ちを含み現場を円滑に回せることと、管理者のコミュニケーション

ション力が高いことが会社の強みだと言います。

職人から創業者へ

久高氏は、かつては塗装会社の職人として働いていましたが、その会社の社長が亡くなり、解散となったタイミングで独立しました。18年前の2001年のことでした。

独立した久高氏は、解散した会社で共に働いていた職人を日雇いのような形で雇用し、二人で仕事を始めました。実家の庭に倉庫を置いて、体ひとつでの創業です。久高氏は当時のことを、最初の5年は勢いだけでやっていったと振り返ります。

同友会との出会い

5年目を迎えた頃から、常にかが違つたと感じながら仕事をしていました。仕事が入れば、日雇いのような形で職人に手伝わしてもらい、仕事を回していく。「こんなのは全然会社ではない」と思うようになったと言います。そのような日々を過ごしていたところ、業界の知り合いからの紹介で同友会に入会します。入会間もなく久高氏は、経営指針を創る会にも参加し、自分と向き合い、会社のありべき姿を模索しました。また、現在は支部の例会企画委員長を務めており、企画や運営等いろいろなことが学べていると言います。

会社のあるべき姿を目指して

順調に業績を伸ばし、独立10年目に法人化した(株)高栄塗装は、現

在15名の社員を抱える会社に成長しました。ここ5年位は社内の体制を大きく変えてきたと言います。最近取り組んでいる社員の評価制度もそのひとつです。

会社を大きく変えていく過程で、どうしてもついでこれない社員や反発する社員が出てきます。どこの会社でも同じことですが、久高氏も今が一番しんどいところと語っていました。「社員が一生を託せるような会社」、「社員が出社するのが楽しい会社」、「社員が人間として成長できる会社」、このような久高氏の理想とする会社のあるべき姿を求めて、会社の組織作りに取り組んでいます。

取材・撮影：藤本浩氏
(プリントバリュー)(株)・静岡支部



久高 洋司氏

(株)高栄塗装

〒424-0022 静岡市清水区八坂町481-1
TEL：054-659-3645
URL：http://www.koeitoso.com/

創業 2001年 設立 2011年
社員数 15名
入会年月 2009年8月
事業内容 建築塗装、鋼橋塗装、防水工事、
コンクリート補修補強工事

第47回青年経営者全国交流会を熊本で開催

9月12日(木)～13日(金)
ホテル日航熊本ほか

9月12～13日、ホテル日航熊本ほか4会場にて第47回青年経営者全国交流会(略称・青全交、中同協主催)が「火の国に集いしわさもんよ、富国有徳の体現者たれ!」(Try&Error やったことしか残らない)をスローガンに行われ、45同友会および中同協から約1500名が参加しました。

1日目は「企業づくりと青年部活動」「次代のリーダーへの期待」などをテーマに、見学分科会を含む15の分科会が行われました。



小山 薫堂氏

2日目の記念講演では、放送作家で脚本家の小山薫堂氏より「幸せの企画術」をテーマに講演。熊本県のPRキャラクター「くまモン」の生みの親で、さまざまな分野で「人を幸せにする」企画を生み続けている小山氏の講演は、自社を見つめ直し、未来のビジョンを描くヒントを参加者に与えました。続いて、中同協顧問の田中信吾氏(日本ジャバラ(株)・兵庫同友会)より「『もう一歩前へ』」思考を広く深くし実践と行動を」をテーマに特別報告がありました。田中氏は「経営指針を策定しただけでは会社も経営者としても成長はしない。思考を広く深くし実践と行動をすることで、動も運も広がる」と話しました。そして、青年経営者に期待を込めて、自分の頭で考え行動する「もう一歩前へ」の生き方の重要性を語り、エールを送りました。その後、次回開催の愛知同友会にバトンが引き継がれ、2日間の幕を閉じました。

参加者感想

第7分科会

無いものを創り、育てる哲学

「一人ひとりの「やりたい」をカタチに」

水木 秀行氏

(PORTSTYLE(株) 代表取締役・兵庫同友会)



津賀 由布子氏

第7分科会は神戸を中心に帽子専門店を展開するPORTSTYLE(株)水木秀行氏の報告です。「帽子を楽しむ人を増やす」と

いうビジョンのもと、創業15年目にして40店舗近く出店し、14億円の売上を創出しています。水木氏は「正しい意思決定ではなくて、意思決定を正しく育てていくことが大切だ」と話します。これだと思つたならやってみる。自分の専門でないスキルが必要だと思つたら専門性の高い方に助けを求めよう。完璧にやることより最速で行動を起こし先行優位性をとる。なによりもビジネスモデルと収益基盤をしっかりつくること。が最優先である。撤退ルールを設け、「拡大することを決める」ことにより覚悟が生まれ、トラブルを小さく感じるようになったと、折れない心を育ててきた自身の変化を語ってくれました。

津賀 由布子氏(南サンディオス・沼津支部)

第14分科会

被災地から新ビジネスモデル!

「事業おこしは失敗の繰り返し」

富山 泰庸氏

(ロツツ(株) 代表取締役・岩手同友会)



田中 仁志氏

今回初めての青全交に参加するにあたり、分科会選びで悩みました。第14分科会を選んだ理由としては、取引先の介護の会社の社長

に話の種として持ち帰りたいという理由からでした。話の種どころか自分自身、理念の大切さを改めて感じる事が出来ました。お話しの中で一番感銘を受けたことは、薬局やデイサービス、温泉施設の経営をすることで、地域を健康に出来る、それが地域の税の使い方を考える、結果将来の子供たちに繋がる、そこまで見通して活動されていることでした。被災地域での薬局の設立や赤字施設の温泉場の経営立て直しの依頼等、経営者としては儲けや事業の成功を考え、やるべきではないかもしれないことにも常に前向きに立ち向かう富山氏の姿勢は、「被災地域と共に成長し地域になくならない企業になる」という理念を体現していると感じました。

バズでも「地域になくならない会社とはなんなのだろう」というテーマのもと、色々な意見が出ました。その中でも「経営者として経営を続けていくことが一番の地域貢献になる」という意見でグループ一同頑張っていたことが締めくくり、いいバズとなりました。是非また刺激を受け経営に活かすため、青全交に参加したいと思いました。

田中 仁志氏(株ファイナンシャルネット・沼津支部)

本質に迫れ！ 変革に挑め！

～人を生かす経営が企業の未来を拓く～

フォーラム開催まであと1ヶ月！ぜひご参加ください！

県下会員が一堂に会する全県経営フォーラムを11月15日(金)に掛川グランドホテルにて開催します。所属支部の垣根を越え、他支部の会員、行政機関の方々と共に学びあうフォーラムで、自社経営の課題や取り組みを交わしあい、企業のさらなる発展を目指しましょう。記念講演は、兵庫同友会の田中信吾氏(日本ジャバラ(株))をお招きし、その後、5つのテーマに分かれ、分科会を開催します。

報告者の皆さんも本番にむけ準備を進めています。会員皆様ぜひフォーラムにご参加下さい。



フォーラムを 自社事業発展の契機に



県下会員が一同に会し、経営を学びあう全県経営フォーラムは、今年で33回目を迎えます。「本質に迫れ！変革に挑め！」をメインテーマに、企業づくり、地域づくりの学びを深めます。今年4月から本格的に始まった働き方改革への対応、10月からは消費税が10%に引き上げられるなど、社会情勢に適応した企業経営が経営者には一層求められています。同友会は経営者の経営体験や生き様の報告から正に生きた中小企業経営を得られる場ですが、中小企業振興基本条例運動や、行政・金融機関との関わりなど、地域社会からの期待も益々高まっています。同友会運動をさらに前進させ、推進していくためにも、本フォーラムを契機に、同友会への思いに共感し、よい企業、よい経営者よい経営環境をめざす経営者の仲間を増やしていくことが重要です。県

理事会では参加者目標を211名と決めました。会員の皆様はじめ、お知り合いの経営者にもお声掛けをお願いいたします。同友会の学びを実践している報告から皆で学びあい、自社事業発展の契機にしていきましょう。

井上 斉氏
(ワシロック工業(株)・県代表理事)

実行委員長・支部長より 開催への意気込み

いよいよフォーラム開催まで1ヶ月となりました。はじめに、各支部例会に中遠支部よりキャラバン参加をさせて頂き、ありがとうございます。私は同友会に入会して3年ですが、この度実行委員長を仰せつかり、貴重な経験をさせて頂いています。8月には記念講演講師の田中信吾氏(日本ジャバラ(株)・兵庫同友会)を訪問し、企業を發展させてきた経営者の哲学に触れ、他支部の例会では普段お会いできない方と学びあうことができ、とても刺激を頂きました。弊社は金属製品の製造をしています。地域によって変わること、共通していることなど、新しく気付くことがありました。フォーラムの魅力はまさにここだと感じています。県内各地域の経営者が自社の現状を持ち寄り、企業の発展に向け経営を学びあう、これほど貴重な機会を逃す手はありません。ぜひ211名を超える参加者で開催し、充実した時間にしていきたく思いますので、ぜひフォーラムにご参加下さい。

中遠支部一同、お待ちしています。

榎田 義高氏
(マスタテクノ(株)・中遠支部)



フォーラム開催に向け多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。記念講演講師訪問、並びに各分科会の打合せやリハーサル進捗を聞くにあたり、開催が目前であることを実感しています。

中遠支部は3市1町(掛川・袋井・磐田・森町)を拠点としながら、現在22名の会員が参画しています。私は本年度から支部長を務めさせて頂いており、今期は「本質に迫る」そして「学びの実践」をテーマに活動しています。ですから本フォーラムの中遠開催が決定した時、支部活性化の契機にしたいと強く思った次第です。中小企業経営者が学びあい、企業が發展し、そして地域が發展する。その運動を広めていくことが今地域に生きる私達の役目の一つだと思えます。本フォーラムはまさに、企業づくりの本質に迫る機会であり、思いを同じくする仲間と出会う場であり、切磋琢磨し学びの実践を後押しする場になると確信しています。

中遠支部も一丸となって設備準備に取り組んでいます。ぜひ多くの方にご参加頂き、盛大にフォーラムを盛り上げていきたいと思えます。掛川でお待ちしています。

遠藤 健正氏
(南大橋商事・中遠支部)

静岡大学連携講座始まる

今年で12年目を迎えた「企業経済特論Ⅳ」の講座は、中小企業への関心を高めてもらい、経営者の魅力を感じてもらうこと、また中小企業の果たす役割の大きさを知ってもらうことが目的です。受講生は約80名、中小企業の経営者の生き様や経営哲学に触れ、中小企業ならではの魅力や企業の姿を知ってもらう機会となっています。

◆第1講 10月2日(水)

「日本経済における中小企業の果たす

役割と意義、この講座の目的」

講師：遠藤 一秀氏
遠藤科学(株)

中小企業白書や経済産業省等の統計調査・公開データをもとに民間雇用の約70%は中小企業であること、民間で創出されるGDPの50%以上が中小企業で創出されている現状などを伝え、中小企業が地域経済で果たす役割を説明しました。また、自社経営の話では、社員の立場に立って考えられた自社の付加価値を算出した独自の決算書に触れながら伝えました。最期に「本講義を通じて中小企業経営者の



遠藤 一秀氏

考え方、中小企業の魅力に触れてほしい。そして中小企業のための「経営学」を進化させてほしい」とメッセージを送りました。

若手社員

フオロアツプ研修を開催！

会員企業から若手社員17名が参加

10月1日(火) もくせい会館



野川 共育委員長

して行きましよう」と伝えました。午前の部では、講師の杉山静江氏によるビジネスマナー研修を行い、社会人としての基本を振り返った上で、日常的な仕事の会話を用いながら、相手に信頼感や誠意が伝わる敬語の使い方を学びました。午後の部の須山由佳子氏(㈱キャリア・アップ・浜松支部)の研修では、まずグループでこの半年間を仲間と共に振り返り、全員の前で発表しました。その後、グループでケーススタディを用いながら「報告・連絡・相談」の重要性を学びました。伝え方やタイミングなど、取引先や上司に信頼される仕事をするために気を付けるべきことを学び、参加者それぞれのスキルアップに繋が

会員企業11社より17名の若手社員が参加し、フオロアツプ研修が開催されました。はじめに野川和三共育委員長(㈱野川商店・榛南支部)より開会あいさつがあり「同友会では実践を大切に行っているため、社員の皆さんも今日の学びを自社で実践

る研修となりました。最後に鈴木雅夫氏(香港静雅有限公司・榛南支部)より「皆さん一人ひとりが自分のために成長することが、会社の成長に繋がります」と、今後を期待する閉会あいさつがあり、参加者にとって新たな気持ちで一步を踏み出す機会になりました。



グループワークの様子



故 山崎 真氏
スペースプランニング(株)
中遠支部
1934年12月18日生
(満84歳)
1976年入会

故 山崎 真さんを偲んで

8月26日、静岡同友会元筆頭代表理事、現相談役 スペースプランニング(株) 相談役 山崎真さんが逝去されました。山崎さんは、運送業に勤められているとき事業閉鎖に直面して働く仲間と生活防衛のため新会社を立ち上げ代表取締役に就任されたのが1975年です。その前年に静岡県中小企業家同友会は設立されたばかりです。山崎さんは設立発起人を訪ね早速入会して同友会での「学び」をスタートさせました。同友会の活動は自社の経営活動と不離一体のものをめざしていますが、それには「学び」の活動が大切です。山崎さんの同友会での「学び」姿勢は今日まで一貫していました。山崎さんは同友会では、浜松支部長、県の副代表理事、代表理事、筆頭代表理事、そして全国協議会では9期にわたり幹事をつとめました。山崎さんは自社の活動でも社員さんとともに「みんなで力を合わせて」のスローガンで活力ある経営をしました。そして課題の事業承継をはやくから取り組み強固な会社が出ています。山崎さんの残された偉業から学んで行きますが、いつも温かい人情と誠意で私達に接して頂いたことを感謝してお別れしたいと思います。

静岡県中小企業家同友会顧問 勝又 悦朗氏

グループ長研修を開催

26名が参加し、グループ長・座長の役割を共有

9月9日(月) 同友会会議室 参加26名

11月の全県経営フォーラム開催に向け、9月9日(月)同友会会議室にてグループ長研修を開催し、県下26名が出席しました。まず、西鉢亮貴氏(㈱富士山ドリームビレッジ・富士宮支部)より、座長は報告者と共に、テーマに沿った報告や参加者が学びを深められるバズセッションを創る大きな役割を担っていることを説明。続いて稲原研氏(松屋電気商会・富士宮支部)より、例会とグループ討論の意義、またグループ長の心構えや討論の進め方を説明しました。その後、高野康一氏(㈱高野部品・沼津支部)の「10年先に向けての自社の取り組み」をテーマとした報告を聞き、10年先のために今どのようなことに取り組むかについて3回のグループ討論を行いました。本質を学び、経験を重ねることで参加者それぞれがグループ長の力量を高めることに繋がった研修となりました。



10月・11月

DOYU CALENDAR

10月16日(水)～11月15日(金)

10月 15日(火)	沼津例会 (18:45 プラサヴェルデ)
16日(水)	志太例会 (18:30 藤枝市文化センター)
17日(木)～ 18日(金)	中同協・障害者問題全国交流会in滋賀 (13:00 琵琶湖ホテル)
17日(木)	中遠例会 (19:00 iプラザ(総合健康福祉会館)) 榛南例会 (19:00 きてご榛原) 浜松例会 (19:00 こども館(ザザ中央館))
18日(金)	伊東例会 (18:30 伊東市健康福祉センター) 県政策委員会 (19:00 同友会事務局)
19日(土)	中小企業憲章・振興基本条例学習会in沼津 (14:00 プラサヴェルデ) 青年部 朝まで討論会in沼津 (19日(土)～20日(日)) (18:00 KKR沼津はまゆう)
21日(月)	県組織増強委員会(東部) (19:00 プラサヴェルデ) 第16期経営指針を創る会⑨ (19:00 同友会事務局)
23日(水)	県理事会 (17:00 同友会事務局) 県例会企画委員会 (19:00 同友会事務局)
24日(木)	富士例会 (19:00 富士ロゼシアター)

25日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局)
26日(土)	共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)
28日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所)
11月 1日(金)	第16期経営指針を創る会⑩ (19:00 同友会事務局)
2日(土)	同友会大学 (14:00 同友会事務局)
5日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 同友会事務局)
8日(金)	県組織増強委員会(中・西部) (19:00 同友会事務局)
13日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
15日(金)	正副代表理事会 (10:00 掛川グランドホテル) 第33回全県経営フォーラムin中遠 (12:30 掛川グランドホテル)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》



静岡同友会
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！